

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 鈴木勝雄
連絡先 045-210-1111 (内線3850)
神奈川県青少年課内
印刷 朝日オフセット印刷株式会社

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供

つばさ

神奈川県青少年指導員だより

平成21年度青少年の健全育成を進める県民大会

平成21年7月11日(土)
川崎市サンピアンかわさきにおいて、「かながわの明日を担う青少年のために」の大会テーマのもと、平成21年度青少年の健全育成を進める県民大会が開催されました。

大会は、県立住吉高等学校、川崎市立川崎高等学校によるチアリーディングの後、「目覚めよ、大人」をテーマに、俳優の八名信夫氏による講演が行われ、他人の子どもでも愛情を持つ

て叱り、守っていかねばならないのお話がありました。

パネルディスカッションでは、コーディネーターの日本大学佐藤教授から、近年、親ではない第三者の教育力が弱くなってきた。子どもたちが何かやっても、私には関係ないという大人が増えてきたとの問題点が提起され、帝京大学客員講師の新倉さんからは、「最近の地域の教育力は不足して、近所のつながりも弱くなってしまった。そういう

中では、むしろ大人が進んで後姿を子どもに見せて教育していくことが大事。」、川崎市教育委員の中本さんからは、「魅力的な大人、魅力的な地域を、子どもたちに見せていくことが大切。」、松沢知事からは、「地域の子どもを育てる活動をする



大会アピールの採択

「私たちが大人から地域社会における人間関係を学び受け継いでいきたいと思う。そのためにも、大人が率先して住みやすい地域づくりに取り組んでほしい。」な



八名信夫氏の講演

どの意見が出されました。最後に佐藤教授が、「大人の役割とは何かと考えると、まず子どもたちに足りない部分を埋めるということ。例えば子どもたちが困っていたら手助けする。二つ目は、叱るとか、評価する意味で正す。三つ目は生かすということ。子どもが持っている良さを生かす。そういうところに、大人の役割があると思う。」とまとめて、シンポジウムは終了しました。

青少年保護育成条例を総点検中

「ご意見をお寄せ下さい」

青少年保護育成条例は、青少年の健全育成を阻害するおそれのある行為を規制するため、昭和30年に制定された歴史ある条例です。以来、新たな問題が出現するたびに規制を追加して青少年を守ってきました。しかしながら、最近の青少年を巡る状況は、いじめ、不登校、ひきこもり、インターネットを介した事件の発生等、たいへん深刻なものとなっています。そこで、県では、青少年を「社会全体で守り、支え、育てる」ことを目指し、この条例を全体的に見直すことにしました。現在、次の3つの柱に沿って、検討を進めているところです。

- 【青少年保護育成条例の主な改正】**
- (昭和43年) ・青少年に対する入れ墨を禁止
 - (昭和53年) ・青少年にみだらな性行為やわいせつな行為をした者に罰則
 - (平成8年) ・テレホンクラブの青少年の利用禁止
 - ・ピンクチラシの戸別頒布禁止
 - ・有害図書類の区分陳列を義務付け
 - ・自動販売機への有害図書類収納禁止 等
 - (平成17年) ・青少年の深夜外出の原則禁止
 - ・カラオケ等への青少年の深夜入店を禁止
 - ・有害図書類の区分陳列の強化
 - ・青少年からの下着の買受け禁止 等
 - (平成20年) ・残虐な家庭用ゲームソフトの販売制限
 - ・出会い喫茶の青少年の利用禁止

① 社会全体の協力で青少年の健全な成長を図るための基本理念や、関係者の責務等を新たに盛り込みます。② 現在の社会環境に即した内容となるようすべての条文を点検します。③ 県民の皆さまの意見をお寄せ下さい。

【神奈川県県民部青少年課】

この後、県体育協会会長の山下泰裕さんからのビデオメッセージがあり、平成21年度アピールを採択して大会は終了しました。

【神奈川県県民部青少年課】

かながわ青少年健全育成 メールマガジンを創刊

かながわの青少年健全育成に関する最新の情報をお届けします

県では、青少年の健全育成に携わる個人や団体、グループ、NPO、企業等の皆さまを対象に、定期的に県の青少年施策に関する情報を提供する「かながわ青少年健全育成メールマガジン」を今年7月に創刊いたしました。

- ① パソコンで次のホームページにアクセスし、メールアドレスを登録
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/seisyonen/magazine/index.html>
- ② 「メールマガジン希望」の旨のメールを
sei.maimagazine.enter@pref.kanagawa.jp宛てに送付



日ごろ、青少年の健全育成にご尽力されている皆さまに、有用な情報を配信してまいりますので、ぜひご登録くださいますようお願いいたします。

※パソコンでの受信が対象です。



神奈川県青少年相談支援情報サイト

神奈川県青少年相談支援 情報サイト

悩みを抱えた青少年やそのご家族の相談を適切にサポートします

県や各市町村では、悩みを抱えた青少年やそのご家族等のための相談事業を青少年センター、保健福祉事務所、児童相談所などさまざまな機関で実施していますが、一部には「どこに相談したらよいかわからない」「どの機関でいいのか知らない」との声もあります。そこで、青少年やご家族が、自らの状況に応じて適切な相談機関を探すことができるように、相談に関する情報を総合的に提供する「神奈川県青少年相談支援情報サイト」を開設いたします。

- ① 相談サイトの内容
各機関がどのような取り組みをしているか、わかりやすくご案内しています。
- ② 相談方法について
電話相談、面接相談、メール相談など、相談方法の特徴をわかりやすくご案内しています。
- ③ 相談機関の紹介
県内で青少年の悩みに対応する窓口を持つ相談機関の情報を、相談内容別、地域別に探すことができます。
- ④ 相談Q&A
相談に関するちょっとした疑問などにQ&Aでわかりやすく解説しています。
- ⑤ 講演会等のお知らせ
各機関や団体等が実施する相談会や講演会等の情報をご案内しています。
- ⑥ ひきこもり青少年支援情報
ひきこもり青少年の支援に関するさまざまな情報をご案内しています。

家庭用ゲームソフトの 「年齢別レーティング制度」周知イベントを実施

県では、7月18日に川崎地下街アゼリアで、「家庭用ゲームソフトの『年齢別レーティング制度』をご存知ですか？」と題したイベントを、家庭用ゲーム業界と協働で実施しました。

この「年齢別レーティング制度」とは、ゲームソフトに含まれる表現内容により、そのゲームソフトの対象年齢等を、マーク(A・B・C・D・Z)等にして表示する制度で、特に、「18歳以上のみ対象」の「Z」区分のゲームソフトについては、業界では、18歳未満者には販売しない自主規制をしています。

県においても粗暴性・残虐性を有する家庭用ゲームソフトから青少年を守るため、「青少年保護育成条例」を改正し、「Z」区分のゲームソフトを18歳未満者に、売ったり、貸したり、見せたりしてはいけないとする「団体表示図書類」制度を昨年10月にスタートさせました。

今回のタイアップイベントは、こうした業界や県の取組を、保護者をはじめ、広く県民に知っていただくために行ったものです。会場では、業界団体や多くの企業の協力を得て、ミニ講座やチラシなどによる制度の周知のほか、ゲームを体験できるコーナー、プロモーションビデオの上映コーナー、ゲームアイテム等のダウンロードスポットを設けました。



年齢別レーティング制度についてのミニ講座

【神奈川県民部青少年課 企画班】
電話0452103840

【神奈川県民部青少年課】

横浜

空高く飛べ！
手作りの紙トンボ

鶴見区青少年指導員協議会 広報部長 風間 省二
鶴見区では、春・夏・秋に区民参加のフェスティバルが開催されます。三ツ池公園文化・環境フェスティバル、鶴見川サマーフェスティバル、つるみ臨海フェスティバルなど、さまざまな団体が参加し、盛り上がるイベントです。



紙トンボ・ビュンビュンごま教室

「マーケット通路の中ほどにあるグラウンドに、紙トンボ・ビュンビュンごま教室」を開きました。時折小雨の降る不安定な天候でしたが、子どもたちが次々と集い、テントの中では、はさみやホットキス、千枚通しの使い方に四苦八苦する子もいましたが、青少年指導員のアドバイスのもとで作品が次々と完成しました。グラウンドでは空高く飛ぶ紙トンボや迷走する紙トンボ、

県央

地域との幅広い交流

座間市青少年指導員協議会 会長 長 真一

座間市の青少年指導員は6中学校区で総勢50人。特徴ある活動としては、毎年各学区ごとに開催する「青少年フェスティバル」があります。フェスティバルでは、各学区の青少年指導員が中心となり、児童や生徒、地域の人たちが気軽に参加できるニュースポーツやゲームなどを実施しています。特に近年は小中高生、PTA、ジュニアリーダー、自治会、座間市青少年指導員の皆さんが企画や運営に協力してくれる傾向にあり、地域の幅広い年齢層と交流

できる場となってきました。また、女性の青少年指導員の中には、各小学校で月1、2回のペースで開催されている児童を対象とした「遊友(ゆうゆう)クラブ」の実行委員として活躍している人たちがいます。開催日には、放課後の各教室に工作や昔あそび、おやつ作り、抹茶、生け花、囲碁などさまざまな体験コーナーが設けられ、校内は子どもたちの歓声であふれます。協議会全体で臨む事業としては11月の「ふるさとまつり」、2月の「青少年芸術祭」があります。「ふるさとまつり」では、手作り製のスマートフォン台やペーごまなどの昔あそびのコーナーを作り、会場を訪れた幼児からお年寄りまでが



青少年芸術祭

楽しめる催しを実施します。また、会場には私たちの年間活動の写真を展示し、市民へのPRにも努めています。「青少年芸術祭」では、幼児から成人を対象にダンス部門や絵画や工芸品を展示した美術展部門などが開催され、青少年指導員が実行委員の中心となって活躍します。

それを追う子どもたちの歓声、ビュンビュンごまの風を切る音が響きわたり、「飛んだ！飛んだ！」「あーダメだ」「もう1回挑戦！挑戦！」と元気な声が飛び交いました。8月にはいかだレースや野外音楽祭、花火大会が行われる「鶴見川サマーフェスティバル」が開催されます。私たちはたくさんの人の安全を守る警備を担当します。また10月に行われる「つるみ臨海フェスティバル」では、「紙トンボと折り紙教室」を開く予定でいます。鶴見の青少年指導員たちはこれからもこうしたイベントを通して、親子のふれあいの場を提供し、子どもたちに創造の楽しさを感じてもらえたらと活動していきます。

活動ガンバっています！

～ 地域活動報告 ～

湘南

JUMPER U-20
WINTER
CONCERT



皆で歌って踊ってエンディング！

藤沢市青少年指導員協議会 理事 塚田 尚子
藤沢市青少年指導員協議会では、12月に若者たちのコンサートを行っています。

市内在住・在学または在勤の20歳以下の青少年を含むことが条件で、毎年多くのグループが参加し、昨年10周年を迎えました。当時、軽音楽を演奏する若者たち、中でも学校の部活動とは別に活動しながら、自分たちの音楽を求めている彼らには、発表の場はあまりなく、また練習場所の確保にも苦労していました。そうした彼らを応援しようと、平成11年に立ち上げた事業です。

私たち青少年指導員はコンサートの企画・運営に携わり、出演者をサポートします。出演者は各自の演奏のほかに、ポスター・プログラム作成、当日の司会、エンディング曲の演奏などを担当し、皆でコンサート

西湘

きびきびコンソर्ट

小田原市青少年育成推進員協議会 会長 高橋 一夫

「きらめきロビンフッド」小田原市で毎年開催している「地域少年リーダー養成講座」をこう呼んでいます。この事業は、自然の中での共同生活を通じて、学校や学年の異なる仲間とふれあい、自主性、自立心、協調性、積極性などリーダーとして必要な意識を育て、地域における青少年リーダーの養成を図ることを目的としており、年間を通じて活動します。メインとなる本研修は、7月18日、20日の2泊3日、塔ノ峰青少年の家にてキャンプ研修を行いました。当日は、市内の小学5・6年



皆既日食の解説

生約60名が集い、また、青少年育成推進員のほかジュニアリーダーやシニアリーダーの指導者も加わり、班ごとにさまざまなプログラムに挑みます。今年も、皆既日食の当たり年でもあったことから、テーマを「おもいっきり太陽」とし、太陽のみならず、太陽から恵を受けている大自然もうまくプログラムに取り入れようと、準備段階から試行錯誤して作り上げました。登山の途中で皆既日食のしくみについて解説

を盛り上げます。また当日までの何回かの顔合わせが、グループ同士の交流の場にもなっています。音楽のジャンルもさまざま、ロック・ポップスのほか、三味線の演奏やアカペラの合唱もありました。当初は6グループの出演でしたが、昨年は22グループとなつています。出演者からは、「楽しかった！」「すごく緊張した。」「来年も出たい。」などの感想が寄せられています。今年11月に藤沢市で、神奈川県青少年指導員大会が開催されます。オープニングでは、昨年のコンサートの出演者を代表して、県立藤沢総合高校軽音楽部の皆さんが、素敵な演奏を披露してくださる予定です。したり、夜は星座教室を行い星座の知識を高めるなどの研修を行いました。2日目に至っては、朝から夜のキャンプファイヤーまで一日を通して、地球創造の過程をゲームも交えたストーリー仕立てで演出しました。野外炊事では、薪割りや火おこしなど、日ごろ体験しないことも子どもたちに身に付けてもらおうと、手取り足取り一から実践してもらいました。毎年思いますが、初めて出会う子どもたちが、共同生活を通じて絆を深め成長していく姿を目の当たりにできることはやりがいがありますし、また、世代を超えた交流がもてることもこの事業の魅力だと思います。今後子どもたちに身近で接しながら、活動をしていきたいと思えます。

第42回青少年指導員 大会開催!

今年度の指導員大会は、11月1日(日) 13時から、藤沢市の「藤沢市民会館」大ホールで行われます。大会テーマは「守り 育てる ～心豊かにたくましく～」。

皆さまの心に残る大会を目指して、湘南地域の8つの市町、平塚、藤沢、茅ヶ崎、秦野、伊勢原、寒川、大磯、二宮が力を合わせて準備を進めています。

また、講演会の講師には、日本初の民官協働の冒険遊び場「羽根木プレーパーク」の初代有給プレーリーダーで、大正大学人間学部教授の天野秀昭氏をお迎えします。プレーパークでは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、禁止や制限事項をできるだけなくしています。「遊びは子どもにとって生きることでそのもの」というメッセージ



大会のオープニングを飾るのは、青少年バンドによる軽音楽コンサート。地域活動報告でも紹介されている藤沢市「JUMP UP U・20 WINTER CONCERT」の出演者による、躍動感あふれる演奏をお楽しみください。

を通じて、子どもが本来持っている力や、現在の子どもや大人たちが抱えている問題についてお話しいただく予定です。

▼日程・会場

県央(大和)	10月21日(水) 18:30~20:30	大和市保健福祉センター
横須賀三浦	10月31日(土) 14:00~16:00	鎌倉女子大学・大船キャンパス
川崎	11月2日(月) 18:30~20:30	川崎市中原市民館
足柄上	11月10日(火) 18:30~20:30	南足柄市文化会館
西湘	11月11日(水) 18:30~20:30	小田原市生涯学習センターけやき
横浜	11月14日(土) 14:00~16:00	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール
県央(相模原)	11月17日(火) 18:30~20:30	サン・エールさがみはら (相模原市立勤労者総合福祉センター)
湘南	11月28日(土) 13:30~15:30	寒川町民センター

※全会場に手話通訳、パソコン文字通訳、保育(2歳~就学前6歳まで・要予約)あり

▼申込み方法

- 電話・ファクス・はがきで、各地域県政総合センターまたは県広報県民課へ
- 県のホームページからお申込みいただけます。「神奈川ふれあいミーティング」で検索
- お問い合わせ先 神奈川県県民部広報県民課 045-210-3669



知事と語ろう!

神奈川ふれあいミーティング

青少年を守り・育てる神奈川づくり

目覚めよ、大人!

ケータイ・ネットと子どもたち

携帯電話やインターネットの普及は、子どもたちの安全・安心などにとって有益な一面がある一方で、ネット等を介した犯罪やトラブルに巻き込まれるなど、悪影響も懸念されています。こうした悪影響から子どもたちを守るためには、大

かもめ通信

- ◆横浜市南区
 - 平成21年度(第29回)ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)
 - 平成21年11月29日(日) 13時 横浜市南公会堂
 - 小学3年~20歳までを対象に募集した作文の表彰・代表者朗読発表等
- ◆川崎市
 - 10月無灯火自転車指導活動
 - 平成21年10月8日(木) 19時(雨天中止)
 - 川崎区南町交番前
 - 中央地区青少年指導員会が毎年春・秋2回実施している無灯火自転車に対する指導活動を10月の定例会開催前に実施。警察との連携により、チラシやウエットティッシュ等を配布しながら指導活動を行う。
 - 第14回大師地区多摩川フアミリーウォーキング
 - 平成21年11月15日(日) 大師公園~多摩川沿い
 - 大師地区の子どもと家族を対象に多摩川河川敷を歩く。
 - 第42回大師地区青少年書き初め大会
 - 平成22年1月10日(日) 川崎市立大師小学校体育館
 - 大師地区の幼児・高校生を対象に、学年ごとに題字を設け、制限時間内に作品を提出。後日優秀作を決定し表彰。
 - 田島地区青少年指導員会リィダーシップ研修会
 - 平成22年1月30日(土) 川崎区役所田島支所
 - 地域の中学生を対象に、JAXA(宇宙航空研究開発機構)職員等を講師とし、宇宙から見た地球の変化をテーマとした講演会を行う。
 - 第4回こどもとふれあう紙ヒコキ大会
 - 平成22年2月28日(日) 川崎市立下平間小学校体育館(予定)
 - 小学生を対象に、主催者の用意した紙で指定した紙ヒコキを折り、飛行距離を競う。
- ◆大和市
 - 第20回中原区青少年吹奏楽コンサート
 - 平成21年11月3日(火・文化の日)
 - 川崎市総合福祉センター(エポックなかほら)
 - 中原区内中学校・高等学校吹奏楽部による演奏、吹奏楽部有志による合同演奏
 - 市制50周年記念「こどもフェスティバル」
 - 平成21年12月6日(日) やまと公園・大和市青少年センター
 - 全市域から募集した中・高校生の実行委員がこのまつりを自ら企画・運営するためのアドバイザーとして、大和市青少年指導員団体育成部員が担当。
 - ◆座間市
 - 第33回座間市青少年健全育成大会
 - 平成21年11月21日(土) ハーモニーホール座間
 - 第30回座間市青少年芸術祭展示部門「青少年美術展」
 - 平成22年2月27日(土) 28日(日)
 - 対象は小学生から30歳までの青少年で、市内在住・在学・在勤者
 - ◆藤沢市
 - JUMP UP U・20 WINTER CONCERT
 - 平成21年12月12日(土) 13時30分開演予定
 - 藤沢市労働会館
 - 20歳以下の青少年バンドによるロック・ポップスコンサート
 - ◆小田原市
 - 第24回中学生の主張発表
 - 平成21年12月5日(土) 小田原市川東タウンセンター1マロニエホール
 - わくわく子どもフェスタ
 - 平成22年2月27日(土) 28日(日) 小田原市生涯学習センターけやき全館

県立清川青少年の家

県立清川青少年の家は、青少年団体が目的に応じて利用できる宿泊施設です。また、青少年支援・指導者育成の研修を実施しています。

野外活動

指導者のためのキャンプ教室、自然体験活動指導者研修(カヌー、川遊び等)、体験活動プログラム研修(MTB等)、自然体験活動企画セミナー

編集後記

つばさ編集委員 廣田 和江 「つばさ」第41号をお届けします。今回、地域活動報告「活動ガンバっています!」について、なるべく多くの活動を紹介し、また一つの号で同じ地域が重ならないようにするために、ローテーションの見直しを行いました。年2回「つばさ」の紙面を通してお届けするさまざまな情報が、地域で活動する皆さまのお役に立つことを期待しています。

- 次号も充実した内容で、お届けしたいと思います。
- 「つばさ」第21期編集委員
 - 猪俣 武雄 横浜地域
 - 児玉 一郎 川崎地域
 - 富樫 文衛 県央地域
 - 廣田 和江 湘南地域
 - 露木 清美 担当理事